

第4学年国語科 学習指導案

平成27年4月30日(木) 5校時
4年2組(男子12名 女子12名 計24名) 本時3/10
授業者 池谷 康史

- 1 **単元名** 新聞で知らせよう ぼくたち・わたしたちの取り組み
教材名 みんなで新聞を作ろう(東京書籍4年上)

2 単元の目標

- 新聞の特徴をとらえ、調べたことをもとに進んで新聞を作ろうとすることができる。
(関心・意欲・態度)
- お家の人や地域の人に自分たちの取り組みを知らせるために新聞の形式を理解し、全体の構成や割り付けについて段落相互の関係に注意して文章を構成することができる。
(B 書くこと イ)
- お家の人や地域の人に自分たちの取り組みが伝わるように、見出しや記事について伝えたいことの内容を明確にして書くことができる。
(B 書くこと ウ)
- 言葉には、考えたことを表す働きがあることに気づき、記事を書くことができる。
(言(1) イ(ア))

3 単元について

(1) 単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

本単元は、小学校学習指導要領国語の第3学年及び第4学年「B 書くこと」の指導事項「イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること」と、指導事項「ウ 書こうとすることの内容を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げていくこと」を取り上げて指導する。

②単元を貫く言語活動とその特徴

「B 書くこと」の言語活動例「イ 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。」を具体化した、「新聞で知らせよう ぼくたち・わたしたちの取り組み」という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる「○○新聞」は、音読発表会(こわれた千の楽器)、お気に入りの本の紹介、4年生になってからの学校行事(入学式、ファミリー発足式、四万十市合併10周年記念式典、バス遠足)などの内容を新聞に表すものである。自分の経験や体験を記事にしていくには、まず出来事を順序立てて思い出し、展開的過去形で書いていく必要がある。その際に大切なことは出来事について立ち止まり何を伝えたいのか見つけ直すことである。見つけ直すことでその経験や体験をしている時の様子やその時に感じたり考えたりしたことについて改めて考えることができる。つまり、伝えたいことを焦点化できるということである。また、読み手を特定の人に設定することによって言葉を選び、記事の内容・表現の仕方にも工夫が必要となり、おのずと相手を意識しながら新聞を作ることができるであろう。このことが、「新聞の形式を理解し、全体の構成や割り付けについて考えること。」(B 書くこと イ)、「読み手が分かりやすいように、見出しや記事の書き方を考えて書くこと。」(B 書くこと ウ)の実現につながると考えられる。

(2) 児童観

児童は、3年12月の「研究レポートを書こう」では、知りたいことについて調べ、調べたことを整理して文章に書く学習を行っている。調べた事柄を整理し、文章の組み立てを考えてレポート形式にまとめることに取り組んだ。しかし、仕上がったレポートを見ると、読み手を意識して文章を書くことに弱さが見られた。4年4月の「心の動きを伝えよう」では、心が動いたことを思い出して気持ちが伝わるように文章を書くことに取り組んだ。ほとんどの児童が書くことに対しての抵抗はなく、意欲的に取り組む姿が見られたが

書く内容や表現の仕方に関しては定着に個人差がある。学力テストの結果を見ると、書く領域では誤字・脱字や文章を書く上で条件が複数になった場合に条件を満たしながら書くことに弱さが見られた。そこで、新聞を作る活動を通して、見出しを付ける・「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうしたか」といった点を必ず記事の中に入れることを条件とし、自分の伝えたいことを明確にして読み手に分かりやすく出来事を伝える文章を書いたり、伝えたいことに合わせてまとめ方を工夫する力を付けていきたい。また、記事を書いた時には、一度読み返し、誤字・脱字がないか自分でチェックする力も付けていきたい。

(3) 指導観

第一次の単元の導入では、教師が作成した「〇〇新聞」を紹介することで、本教材への興味・関心を高め、「新聞で知らせよう ぼくたち・わたしたちの取り組み」という学習のめあてをもつ。4年生は相手や目的が多様になっていく時期であり、これまで身に付けてきた書くことの能力を活用する能動的な態度が求められるため、伝える相手を身近にいるお家の人や地域の人に設定した。

第二次からは、A・Bワンセット方式をとり、教科書に掲示されている「なかま新聞」や広報委員会が作成した校内新聞を使って、新聞の形式や特徴（題字、発行者、発行日、見出し、写真やイラスト、表やグラフ等）を理解させ、新聞作りに必要なこと（記事の順序や見出し、絵や写真、資料の配置等）をとらえさせる。A・Bワンセット方式をとったのは、一斉指導と自力解決の連動で教科書教材での学習でイメージを膨らませ、そのことを即座に新聞作りに生かすことができると考えたからである。新聞に載せる記事の内容は、①音読発表会について（こわれた千の楽器）、②お気に入りの本の紹介、③4月の行事（入学式、ファミリー発足式、四万十市合併10周年記念式典、バス遠足など）の3つである。①・③については、自分の体験を振り返り、「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうした」といった点を落とさずに一番伝えたいことを明確にしながら文章を書くようにする。また、なるべく短い言葉で読み手の興味をひくような見出しも考えさせる。記事の割り付けについては、一番伝えたい記事は初めに大きく取り扱うよう新聞の一番上に書かせ、自分が書いた文章に合った写真を選び、写真の大きさも記事の大きさに合わせて変えさせていく。

第三次では、完成した新聞をクラスの中で読み合う。読み合う時には、意見や感想などを付箋に書いて発行者の友だちに渡すようにする。その付箋をもとに自分の書いた新聞を読み返して学習を振り返る。そして、学習後も家庭学習でのミニ新聞作りを行い、他教科への広がり、つながりを意識させていきたい。

本時では、新聞の題字、記事の順序、割り付けを考える学習を行う。記事の題材については手立てとして、児童が選択して決める形をとる。言語活動の質を高めるための場面としては、記事の割り付けを決める場面を考えている。「なぜ、その割り付けにしたのか。」と問いかけ、理由を述べさせることで自分が一番伝えたいことを明確にさせる。その際、一番伝えたいことが同じ児童にも「あなたは、どうですか。」と意図的に指名し、理由を述べさせることで、自分と同じ考えであったり、自分とは違った理由で記事を選んでいることに気付かせ、改めて記事にする出来事を振り返らせるきっかけにしたい。また、題字との関係についても触れたい。そのことが、記事にその時の様子や自分の気持ちを書くことを意識させることにつながる。これによって本時の一番伝えたいことを意識して割り付けを考えることができ、言語活動の質の向上を高めるものになると考える。

(4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、与えられた指示に従って学習を進めるのみではなく、児童自身が単元を通した学ぶ目的をもち、見通しをもって言語活動を進めていく展開にしていく必要がある。そこで、導入では、教師が作成した「顔晴新聞」や広報委員会の校内新聞を見せ、単元のゴールイメージを具体的に示す。単元全体の学習の見通しをもたせることで目的意識をもち、お家の人や地域の人に読んでもらいたいという思いをもたせて学習に取り組ませたい。児童は、読み手の興味をひくためにとっておきの新聞作りを主体的に進めていくと考えられる。

児童自ら主体的に活動するためには「分かった」「できそう」「もっとやってみたい」という思いをもつこと、「できた」という実感、そして機を逃さない評価が重要になってくる。「分かった」(理解) → 「やってみよう」(意欲) → 「できた」(達成感) の学習の流れをスムーズにするためにA・Bワンセット方式で授業を進めていきたいと考えている。

そのためには、次時の学習に関連する家庭学習を出すことによって次の日への準備をし、児童の新聞作りに対する意欲を途切らすことがないよう取り組んでいく。また、交流し合う場面においては、自分の意見をただ発表するだけでなく、意図的に指名し、共感できるところや違いを出し合うことで、自分が記事にする出来事を改めて考えさせるきっかけになるように仕組む。第二次の5時間目からは限られた字数の中で記事を書いていく。字数制限があるということは言葉を選ぶ必要がある。その際、国語辞典を活用することで言葉を選び、より読み手にとって分かりやすい記事になると思われる。出来事をよく思い出し、国語辞典も活用しながら読み手を意識して記事を書く姿が主体的に活動する児童の姿だと考える。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・新聞の特徴をとらえ、調べたことをもとに進んで新聞を作ろうとしている。
書く能力	・新聞の形式を理解し、全体の構成や割り付けについて考えている。(イ) ・読み手が分かりやすいように、見出しや記事の書き方を考えて書いている。(ウ)
言語についての 知識・理解・技能	・言葉には、考えたことを表す働きがあることに気づき、記事を書いている。イ(ア)

<言語活動のモデル「顔晴(がんば)新聞」>

一番伝えたいことを新聞の一番上に配置する。記事の分量も一番多くし、写真の大きさも一番大きくする。「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうしたか」を落とさず、その時の様子や気持ちも入れて書く。

お気に入りの本の紹介を書く。スペースがあれば、挿絵も付け加える。

読み手の興味をひくような見出しを書く。

題字(新聞名)、発行日、発行者名を記入する。

読み手の興味をひくような見出しを書く。



5 単元構想図

単元を貫く言語活動

学校での出来事を分かりやすい記事にし、見出しや割り付けを考えて、読み手の興味をひく新聞を作る。

◇学習の流れ

第一次

- 学習への意欲と見通しをもつ。
 - ・教師の「顔晴新聞」のモデルを見て、学習のめあてと計画を知る。
 - ・単元のねらいを確かめる。

第二次

- 新聞の特徴や形式を知る。
 - ・題字や見出し、写真やグラフなどがあることを知る。
- 新聞作りに必要なことをとらえる。
 - ・記事の順序や写真の大きさ、資料の配置などについて知る。

第三次

- 完成した新聞を読み合う。
 - ・友だちの新聞を読み、意見や感想を付箋に書き、交流する。
- 友だちからもらった付箋をもとに学習を振り返る。

◇意識の流れ

【児童の実態】

読み手を意識して文章を書くことに弱さが見られる。

- ・新聞は以前作ったことがあるからできるかも。
- ・わたしもオリジナルの新聞を作って読んでもらいたいな。
- ・本の紹介は3年生の時の学習を生かすことができるね。

- ・新聞を見る時には、見出しに目が向くんだね。見出しは短い言葉の方がいいね。
- ・写真やグラフがあると分かりやすいね。
- ・一番伝えたいことを記事の一番上にして、写真も大きくしよう。
- ・自分が書いた記事に合う写真はどれかな。
- ・記事や写真の位置はこれでいいかな。
- ・その時の様子や自分の気持ちも入れて記事を書こう。
- ・別の表現の仕方はないかな。

- ・〇〇さんの新聞の見出しは、ぱっと目がいくね。
- ・〇〇くんが一番伝えたい記事は、これなんだ。
- ・今度、新聞を作る時には、このことに気をつけて作ってみよう。

単元で付けたい力

- ・新聞の形式を理解し、全体の構成や割り付けを考える力
- ・読み手が分かりやすいように、伝えたいことの内容を明確にして書く力

6 指導計画及び評価計画（全10時間）

	時	学習活動	主な評価規準
第一次	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> これからの学習のめあてを知ろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の「顔晴新聞」のモデルを見る。 ・モデルの新聞を見た感想を交流し合う ・単元の流れを知る。 	【関】 新聞で伝えることに興味をもち、新聞作りに意欲的に取り組もうとしている。 （ノート、発言・行動観察）
第二次	2	【A】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> お家の人や地域の人に伝えるために新聞の特徴を知ろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の形式や特徴を知る。 	【書】 お家の人や地域の人に自分たちの取り組みを知らせるために新聞の形式を理解している。 （ノート、発言） 【書】 1番伝えたい記事を意識して割り付けを考えている。 （ワークシート、発言）
		【B】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> にとっておきの新聞を作るために、1番伝えたい記事について考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・題字、記事の内容や順序、割り付けを決める。 	
	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> お家の人や地域の人に伝えるために分かりやすい記事はどんな記事か考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手に分かりやすい記事は、どのような記事かを考える。（見出し、写真、割り付け等） 	【書】 お家の人や地域の人に自分たちの取り組みが伝わるように、読み手を意識して見出しを考えている。 （ノート、発言） 【書】 お家の人や地域の人に自分たちの取り組みが伝わるように、分かりやすい記事の書き方を考えて書いている。 （新聞）
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> お家の人や地域の人に伝えるために1番伝えたい記事の下書きを仕上げよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手を意識して下書きをする。（題字、割り付け、見出し等） 	【言】 言葉には、考えたことを表す働きがあることに気付き、記事を書いている。 （新聞）
	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> お家の人や地域の人に伝えるために残りの記事の下書きを仕上げよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手を意識して下書きをする。（題字、割り付け、見出し等） 	【書】 記事を清書し、とっておきの新聞を完成させることができる。 （新聞）
7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> お家の人や地域の人に伝えるためにとっておきの新聞を完成させよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・題字、1番伝えたい記事の清書をする。（色付け、推敲等） 		
	8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> お家の人や地域の人に伝えるためにとっておきの新聞を完成させよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・残りの記事を清書し、新聞を完成させる。（色付け、推敲等） 	
第三次	9 ・ 10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 完成した新聞を読み合い、交流しよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した新聞を読み合う。 ・読んだ新聞に対して意見や感想を交流し合う。 ・家に持って帰り、お家の人から感想をもらう。 ・ホールに掲示し、地域の人に見てもらう。 	【書】 書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合っている。 （付箋、行動観察）

7 学習の展開（全10時間）

第一次 1時間目（1/10）

（1）目標 お家の人や地域の人に自分のことや学校の様子を新聞に表して伝えるというめあてに関心を持ち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。

（2）展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点（○） 評価（☆）支援（※）
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p style="text-align: center;">これからの学習のめあてを知ろう。</p>	<p>○本物の新聞を用意し、新聞には様々な出来事を伝える記事が載っていることに気付かせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>（1）教師のモデルの新聞を見る。</p> <p>（2）新聞を見ての感想を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・去年のことが書かれているよ。 ・先生のお気に入りの本、読んでみたいな。 ・ぼくたちも新聞を作るのかな。 <p>（3）学習の流れを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせの〇〇さんに教えてあげよう。 <p>かかわり合う授業</p> <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <p>（1）国語日記を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お家の人や地域の人に読んでもらうのは緊張するな。 ・うまく書けるかな。 ・いい新聞を作るぞ。 	<p>○教師が書いたモデルの新聞の拡大版を提示する。</p> <p>○内容や書き方について自由に出させる。</p> <p>○新聞を作るにあたって、お家の人や地域の人に自分のことや学校の様子を伝えるという単元のめあてを明確する。</p> <p>☆新聞で伝えることに関心を持ち、新聞作りに意欲的に取り組もうとしている。 【関】（国語日記、発言）</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">家庭学習 自分が書いたことのある作文と教科書P71の「なかま新聞」を比べ、どんなちがいがあるか見つけてくる。</p>	<p>○次時は、新聞の形式や特徴について学習することを知らせる。</p>

第二次 1時間目 (2/10)

(1) 目標 新聞の形式や特徴を理解し、新聞作りに必要なことをとらえることができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>お家の人や地域の人に伝えるために</p> <p>新聞について知ろう。</p>	<p>○言語活動を確認し、ゴールイメージを共有する。</p> <p>○児童の国語日記を紹介し、意欲をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 新聞には、どんなことが載っているのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体 ・どのように書けばいいのかな。 ・新聞の題名と作った人の名前が書かれているよ。 ・作られた日付があるね。 ・写真があるね。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(2) 記事を読み、発行者が一番伝えたい記事はどの記事か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人 (ノート) ・全体 ・何か違いがあるのかな。 ・音読発表会のことを一番伝えたいと思うよ。 ・写真が一番大きいし、文章も一番長く書いているからきっとそうだ。 ・ぱっと見て、一番目につくよね。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <p>(1) 国語日記を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番伝えたい記事を一番上にもってくればいいのか。 ・その他の記事は、あまり長く書かない方がいいね。 ・どの出来事を一番上にもってこようかな。 	<p>○教科書P71の「なかま新聞」の拡大版を提示する。</p> <p>○題字、見出し、発行日、発行者、写真、表、絵などが載っていることを確認する。</p> <p>※見出しを短い言葉、発行日を新聞ができた日など、自分の言葉で表現してもよいように支援する。</p> <p>○一番伝えたい記事はどのように載せればいいのか考えさせる。</p> <p>※記事の位置や記事の分量、写真の大きさなどに目を向けさせ個別に支援する。</p> <p>○「国語日記」として、ノートに今日のめあての振り返りを書かせる。</p> <p>☆お家の人や地域の人に自分たちの取り組みを知らせるために新聞の形式を理解している。</p> <p style="text-align: right;">【書】 (国語日記、発言)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 自分が作る新聞にぴったりの題字を考えてくる。また、なぜその題字にしたのか理由も考えてくる。(ノート)</p>	<p>○次時は、新聞作りに取りかかることを伝える。</p>

第二次 2時間目 (3/10) 本時

(1) 目標 新聞の特徴を意識し、伝えたいことの中心を明確にして記事の選択や順序・割り付けを決めることができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>とっておきの新聞 を書くために</p> <p>一番伝えたい記事について考えよう。</p>	<p>○言語活動を確認し、ゴールイメージを共有する。</p> <p>○国語日記を紹介し、意欲をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 題字を決める。</p> <p>(2) 記事の内容、記事の順序を決める。</p> <p>かかわり合う授業</p> <p>(3) ①の理由を書き、理由を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どう書こうかな。 ・一番伝えたい記事が私と一緒だ。 ・記事は同じでも○○君はそんな風に考えていたのか。ぼくは、□□だったのに。 ・作る新聞のイメージができてきたぞ。 ・あの出来事をもう一度振り返ってみよう。あっ、このことを記事にするとおもしろいかも。 <p>(4) 記事の割り付けを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこにもってこようかな。 ・一番伝えたい記事を一番上にもってこよう。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ出来事でも、感じたことや思ったは人それぞれ違うんだね。 ・記事に対する思いは人それぞれだね。 ・みんなの意見を聞いて、出来事をもう一度、じっくり振り返ることができたよ。 	<p>○家庭学習をもとに決め、なぜその題字にしたのか理由を発表させる。</p> <p>○記事の内容を確認する。</p> <p>○お気に入りの本の紹介については、既習内容を想起させる。</p> <p>※順序に迷っている児童には一番書きたい、伝えたいのはどれか尋ね個別に支援する。</p> <p>○一番伝えたい記事が新聞の一番上になることを確認する。</p> <p>○一番伝えたい記事が同じ児童に意図的に指名し、なぜその記事を一番に選んだのか理由を発表させ、記事にする出来事の様子やその時の気持ちを改めて思い出させる。</p> <p>※教師のモデルの新聞を参考にさせる。</p> <p>☆1 番伝えたい記事を意識して割り付けを考えている。</p> <p>【書】(ワークシート、発言)</p> <p>○話し合う時に共感できるように広げる。</p> <p>○今日の学習はどうであったか口頭で発表させる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 教科書P71の「なかま新聞」の記事にどんなことが書かれているのか考えながら新聞の記事を読んでくる。</p>	<p>○次時は、分かりやすい記事について学習することを伝える。</p>

(3) 評価規準

B 概ね満足できる状況

- ◆一番伝えたい記事を選び、その割り付けも決めることができる。

一番伝えたい記事・・・四万十市合併10周年記念式典

この記事が新聞の一番上にもって来たのは、この式典には、中村小だけでなく、西土佐小学校の友だちと一緒に、大勢の前でドキドキしながら歌ったことを一番に読んでもらいたいからです。写真の大きさも一番大きくしました。

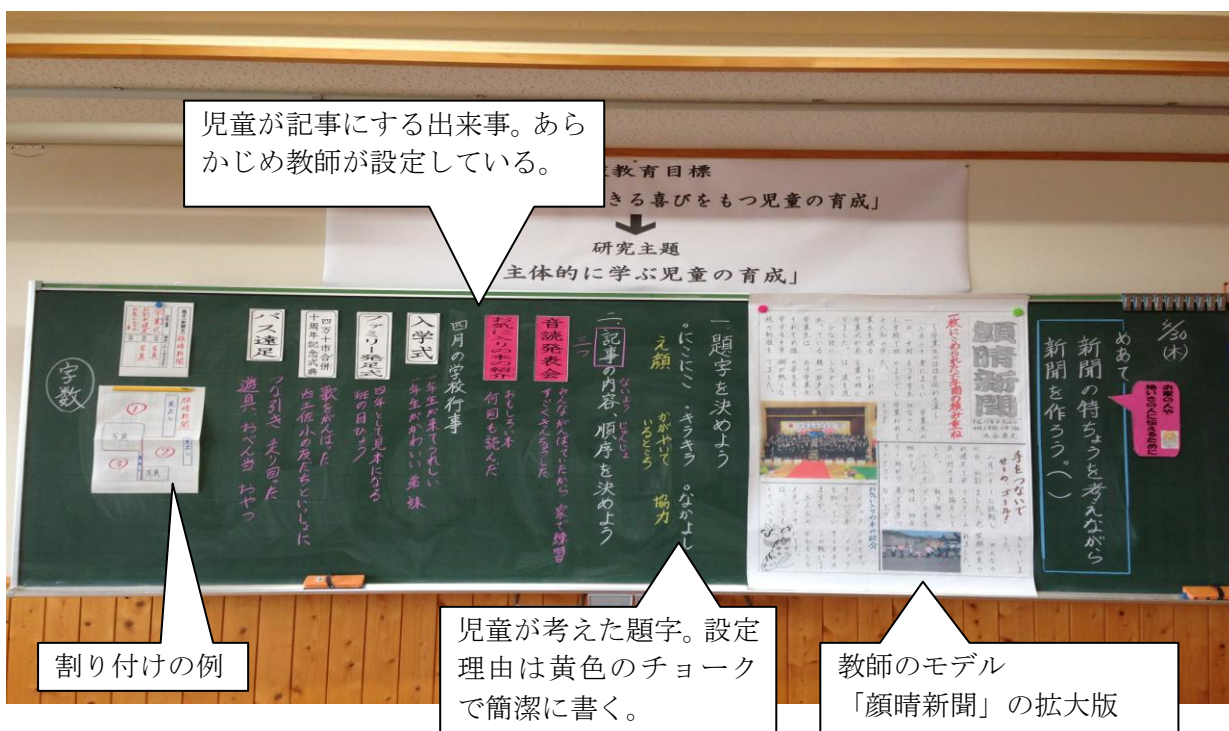
A 十分満足できる状況

- ◆一番伝えたい記事を選び、割り付けも決め、伝えたいことの内容を明確にしている。

一番伝えたい記事・・・四万十市合併10周年記念式典

この記事が新聞の一番上にもって来たのは、この式典には、中村小だけでなく、西土佐小学校の友だちも一緒に「四万十川」を合唱したことが心に残っているからです。文化センターのステージから客席を見た時、全ての客席が埋まるくらい人がたくさんいました。しかも、ほとんどの人が大人の人でした。私達は、この式典に向けて3年生の頃から練習してきました。でも、西土佐小の人と一緒に練習したのは1回しかなかったため、本番はドキドキしながら歌いました。このドキドキ感を一番に読んでもらいたいから、一番目立つ上の記事のところにもって来ました。写真の大きさも一番大きくしました。

(4) 板書計画



(5) 準備物

- ・教師のモデル「顔晴新聞」の拡大版
- ・割り付けの例
- ・ワークシート

第二次 3時間目 (4/10)

(1) 目標 分かりやすい記事には「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうした」といった点を落とさず書いていることに気付くことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>お家の人や地域の人に伝えるために</p> <p>分かりやすい記事はどんな記事か考えよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 教科書P71の「なかま新聞」の記事にどんなことが書かれているか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体 ・日付、場所、どんなことをしたのか書かれているよ。 ・どんなことが書かれているのかな。 ・その時の様子や気持ちも書かれているよ。 ・短い題が書かれているよ。その題は記事の内容と関係しているみたい。 <p>自力解決の場</p> <p>(2) 自分が書く記事の見出しを考え、「○新聞」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あの時の気持ちを見出しにしよう。 ・どんな見出しを付けようかな。 ・○○さんの見出しは分かりやすいな。 ・○○君の見出しは題字と似ているな。 ・見出しは違うけど、理由は私と一緒だ。 ・あの見出し、ちょっと真似したいな。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く新聞を完成させて読んでもらいたい。 ・いい見出しを付けることができた。 ・この見出しにぱっと目がいくだろうな。 	<p>○気付いたことを自由に発言させる。</p> <p>○「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうしたか」といったことが書かれていることを確認する。</p> <p>○記事の本文が入る段が揃っていることに気付かせる。</p> <p>※教師のモデルの新聞と「なかま新聞」を比較させ、同じこと・似たようなことが書かれていないか尋ね支援する。</p> <p>○一番伝えたいことが伝わるような見出しを付けさせる。また、見出しは短い言葉で表現することを確認する。</p> <p>※見出しを付けるのに悩んでいる児童には、その時の気持ちや様子を想起させ支援する。また、見出しは記事を書き終えた段階で変更しても構わないことを伝える。</p> <p>☆お家の人や地域の人に自分たちの取り組みが伝わるように、読み手を意識して見出しを考えている。</p> <p>【書】(ノート、発言)</p> <p>○「国語日記」として、ノートに今日のめあての振り返りを書かせる。</p>
<p>3 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 記事にできごとをノートに一文でまとめる。</p>	<p>○次時は記事の下書きや記事に合った写真を選ぶことを伝える。</p>

第二次 4時間目 (5/10)

(1) 目標 読み手が分かりやすいように、割り付けや写真のことも考えながら記事を書くことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>お家の人や地域の人に伝えるために</p> <p>一番伝えたい記事の下書きを仕上げよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 新聞の形式、特徴について確認する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(2) 新聞の下書きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨日、学習したことを生かして書こう。 ・5つのことを落とさずに書こう。 ・どのように書けばいいのかな。 ・段落を3つぐらいにしよう。 ・最後の段落には、自分の気持ちを書こう。 ・この文章の一部を見出しにしてみよう。 ・何か別の表現の仕方はないかな。 ・国語辞典を使って言葉について調べて確認しよう。 ・文章が長くなりそうだから、伝えたいことをもう一度考えてみよう。 <p>(3) ペア学習 ペアで出来上がったものを読み合う。</p>	<p>○題字、発行者名、見出し、写真や絵などを入れることを確認する。</p> <p>○一番伝えたい記事が一番上に配置させること、記事の分量(字数の制限)、写真の大きさなどについて確認する。</p> <p>※どのように書けばいいのか悩んでいる児童には、教師のモデルの新聞や教科書の「なかま新聞」を参考にさせ支援する。また、家庭学習でやってきている出来事を一文にまとめたものを活用させる。</p> <p>○読み手を意識し、言葉を選ぶ際には国語辞典の活用も呼びかける。</p> <p>☆お家の人や地域の人に自分たちの取り組みが伝わるように、分かりやすい記事の書き方を考えて書いている。</p> <p style="text-align: right;">【書】(新聞)</p> <p>☆言葉には、考えたことを表す働きがあることに気付き、記事を書いている。</p> <p style="text-align: right;">【書】(新聞)</p> <p>○新聞を読んだ感想を伝え合わせる。</p>
<p>3 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 お気に入りの本の紹介の下書きを仕上げてくる。</p>	<p>○次時も引き続き、新聞作りに取り組むことを伝える。</p>

第二次 5時間目 (6/10)

(1) 目標 読み手が分かりやすいように、割り付けや写真のことも考えながら記事を書くことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>お家の人や地域の人に伝えるために</p> <p>残りの記事の下書きを仕上げよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 新聞の形式、特徴について確認する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(2) 新聞の下書きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨日、学習したことを生かして書こう。 ・5つのことを落とさずに書こう。 ・どのように書けばいいのかな。 ・段落を3つぐらいにしよう。 ・最後の段落には、自分の気持ちを書こう。 ・この文章の一部を見出しにしてみよう。 ・何か別の表現の仕方はないかな。 ・国語辞典を使って言葉について調べて確認しよう。 ・文章が長くなりそうだから、伝えたいことをもう一度考えてみよう。 <p>(4) 記事に合った写真を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた記事の内容に合う写真はどれかな。 ・この写真は、自分が伝えたいことの様子が分かるね。 ・この写真を大きくすれば、読む人の目がまず写真にあって興味をもってもらえるかも。 	<p>○題字、発行者名、見出し、写真や絵などを入れることを確認する。</p> <p>○一番伝えたい記事が一番上に配置させること、記事の分量(字数の制限)、写真の大きさなどについて確認する。</p> <p>※どのように書けばいいのかが悩んでいる児童には、教師のモデルの新聞や教科書の「なかま新聞」を参考にさせ支援する。また、家庭学習でやってきている出来事を一文にまとめたものを活用させる。</p> <p>○読み手を意識し、言葉を選ぶ際には国語辞典の活用も呼びかける。</p> <p>☆お家の人や地域の人に自分たちの取り組みが伝わるように、分かりやすい記事の書き方を考えて書いている。</p> <p style="text-align: right;">【書】(新聞)</p> <p>☆言葉には、考えたことを表す働きがあることに気づき、記事を書いている。</p> <p style="text-align: right;">【言】(新聞)</p> <p>○記事の内容に合った写真を選ぶ。</p>
<p>3 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 ノートに今日のめあての振り返りを書いてくる。</p>	<p>○次時は、新聞作りの清書に取り組むことを伝える。</p>

第二次 6時間目 (7/10)

(1) 目標 記事を清書し、とっておきの新聞を完成させることができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>お家の人や地域の人に伝えるために</p> <p>とっておきの新聞を完成させよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 新聞の特徴、形式について確認する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(2) 題字、1番伝えたい記事の部分を完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この見出しは目立たせたいから太い字で色も変えてみよう。 ・やった、完成したぞ。 ・写真も割り付けした通りピッタリ入った。 ・早く読んでもらいたいな。 ・他の人はどんな新聞を作ったのかな。 <p>3 今日の学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の納得のいく新聞ができた。 ・早くお家の人に読んでもらいたい。 ・友だちの新聞も読んでみたい。 	<p>○題名、発行者名、見出し、写真や絵などを入れることを確認する。</p> <p>○一番伝えたい記事が一番上に配置させること、記事の分量、写真の大きさなどについて確認する。</p> <p>○記事に合った写真かどうか、写真の大きさなども確認する。</p> <p>※作業が速い児童には、色付けなども行わせ、友だち同士で読み合い、推敲させる。</p> <p>☆記事を清書し、とっておきの新聞を完成させることができる。 【書】(新聞)</p> <p>○今日の学習はどうであったか口頭で発表させる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 残りの記事の割り付け、見出しを仕上げてくる。</p>	<p>○次時も、新聞作りの清書に取り組むことを伝える。</p>

第二次 7時間目 (8/10)

(1) 目標 記事を清書し、とっておきの新聞を完成させることができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>お家の人や地域の人に伝えるために</p> <p>とっておきの新聞を完成させよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 新聞の特徴、形式について確認する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(2) 新聞を完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この見出しは目立たせたいから太い字で色も変えてみよう。 ・やった、完成したぞ。 ・写真も割り付けした通りピッタリ入った。 ・早く読んでもらいたいな。 ・他の人はどんな新聞を作ったのかな。 <p>3 今日の学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の納得のいく新聞ができた。 ・早くお家の人に読んでもらいたい。 ・友だちの新聞も読んでみたい。 	<p>○題名、発行者名、見出し、写真や絵などを入れることを確認する。</p> <p>○記事に合った写真かどうか、写真の大きさなども確認する。</p> <p>※作業が速い児童には、色付けなども行わせ、友だち同士で読み合い、推敲させる。</p> <p>☆記事を清書し、とっておきの新聞を完成させることができる。 【書】(新聞)</p> <p>○今日の学習はどうであったか口頭で発表させる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 今日、完成した新聞で誤字・脱字、内容が分かりにくいものはないか読み返してくる。</p>	<p>○次時は完成した新聞を読み合い、交流することを伝える。</p>

第三次 1時間目 (9/10)

(1) 目標 新聞を読み合い、優れた表現や工夫について感想を伝え合うことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">思考したくなる課題設定</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 100px;">完成した新聞を読み合い、交流しよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 交流の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班の友だちの新聞を読んで付箋を付ける。 ・みんな、どんな新聞を作ったのかな。 ・私の新聞を読んで、みんなどう思うかな。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">かかわり合う授業</p> <p>(2) 班で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんは、私と同じ出来事だけど様子を表しているところの書き方がちがうねね。 ・この見出しを読むと、興味がわくね。 ・記事の内容と写真が合っていて、分かりやすいね。 ・どのように感想を書けばいいのかな。 ・〇〇君は、あの時こんなことを思っていたのか。僕と似ているな。 ・この文章は〇〇さんの気持ちがよく分かるね。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな新聞を読むことができて楽しかった。 ・今度、新聞を作る時の参考にしたいものがあったよ。 ・みんな、それぞれ読み手を意識して新聞を作っているなあ。 	<p>○班での交流の仕方を説明する。</p> <p>○新聞を読み合う時に、意見や感想を付箋に書いて貼らせるようにする。</p> <p>○学習を振り返る時に付箋を活用することを確認する。</p> <p>☆書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合っている。</p> <p style="text-align: right;">【書】(付箋、行動観察)</p> <p>※優れた表現や工夫している点に気付けない児童には、自分の新聞と比べて違いはないのか、また友だちの意見を参考にさせ同じ観点から考えさせる。</p> <p>○今日の学習はどうであったか口頭で発表させる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">家庭学習のサイクル化</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">家庭学習 完成した新聞をお家の人に読んでもらい、一言感想をもらってくる。</p>	<p>○1人1枚、付箋を配布する。</p>

第三次 2時間目（10／10）

(1) 目標 新聞を読み合い、優れた表現や工夫について感想を伝え合うことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">思考したくなる課題設定</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 100px;">完成した新聞を読み合い、交流しよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 交流の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班以外の友だちの新聞を読んで付箋を付ける。 ・みんな、どんな新聞を作ったのかな。 ・私の新聞を読んで、みんなどう思うかな。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">かかわり合う授業</p> <p>(2) 班以外で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんは、私と同じ出来事だけど様子を表しているところの書き方がちがうねね。 ・この見出しを読むと、興味がわくね。 ・記事の内容と写真が合っていて、分かりやすいね。 ・どのように感想を書けばいいのかな。 ・〇〇君は、あの時こんなことを思っていたのか。僕と似ているな。 ・この文章は〇〇さんの気持ちがよく分かるね。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <p>(1) 国語日記を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい記事の書き方が分かったよ。 ・どのようにして振り返ればいいのか。 ・今度、自主学習でも新聞作りをやってみたいな。 ・更によくするために、今度作る時は見出しをもっと工夫してみよう。 	<p>○交流の仕方を説明する。</p> <p>○新聞を読み合う時に、意見や感想を付箋に書いて貼らせるようにする。</p> <p>○学習を振り返る時に付箋を活用することを確認する。</p> <p>☆書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合っている。</p> <p style="text-align: right;">【書】(付箋、行動観察)</p> <p>※優れた表現や工夫している点に気付けない児童には、自分の新聞と比べて違いはないのか、また友だちの意見を参考にさせ同じ観点から考えさせる。</p> <p>○新聞作りの学習の振り返りをする。</p> <p>○更によくするために、どうしたよいか考えさせる。</p> <p>※付箋に書かれている友だちの意見や感想をもとに学習の振り返りをするよう声をかけ個別に支援する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">家庭学習のサイクル化</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 20px;">家庭学習 今回の学習を生かし、ミニ新聞(国語以外の教科新聞)を作ってくる。</p>	<p>○今回付けた力の上に更に積み重ねていくことを確認し合う。</p>